

第1回 色鉛筆による着彩の基礎

この回では色鉛筆によって短時間で美しく着彩する方法を学びます。着彩の基本は、その仕上げがどのような色彩傾向なのか判断できる程度で良しとします。どんなに濃く塗ってもリアルに表現することができないからです。実際には実物サンプルで色彩を決めますから、着彩によって余計なイメージを与えないようにすることも大切です。

1. 色鉛筆の硬軟 : 自分にあった柔らかさの色鉛筆を選びます
2. 18色を選択する: インテリアコーディネートに向けた色を選びます
3. 色鉛筆の削り方: 色鉛筆の芯をそのまま出します
4. 色鉛筆の持ち方: 目的にあった持ち方を工夫します
5. 塗り方の基本 : 色鉛筆で面を綺麗に塗る方法を練習します
6. 塗り方応用編 : ティッシュを使った柔らかい表現を練習します
7. 付録トレーニングペーパーの使い方



インテリアコーディネーターハンドブック改訂編集委員会

1. 色鉛筆の硬軟

一般に色鉛筆と呼ばれるものは各種ありますが、ここでは油性色鉛筆を選びます。画材店で扱われている油性色鉛筆を実際に使ってみて、上から硬いと感じた順に並べてみました。製図には硬い方が向いていますが、柔らかい方が紙へののりがよくなります。実際に画材店で試して、気に入ったものをバラで購入しましょう。価格は1本120～530円程度です。



三菱 ユニカラー 日本製



トンボ色鉛筆 36カラーズ 日本製



ホルベイン・アーティスト色鉛筆 日本製



VAN GOGH オランダ製



ファーバーカステル・ポリクロモス ドイツ製



ルミナス 6901 カラーダッシュ スイス製



リラ レンブラント・ポリカラー ドイツ製



パブロ パーマネント カラー カラーダッシュ スイス製



カリスマカラー アメリカ製

2. 18色を選択する

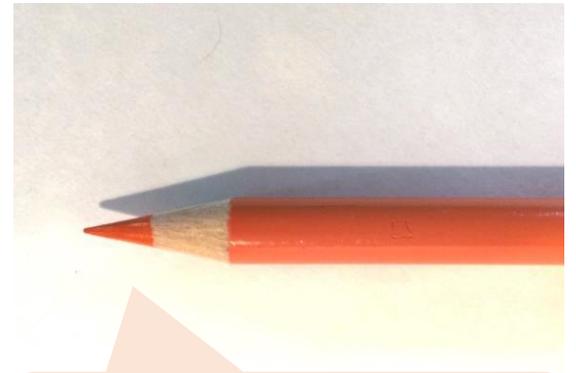
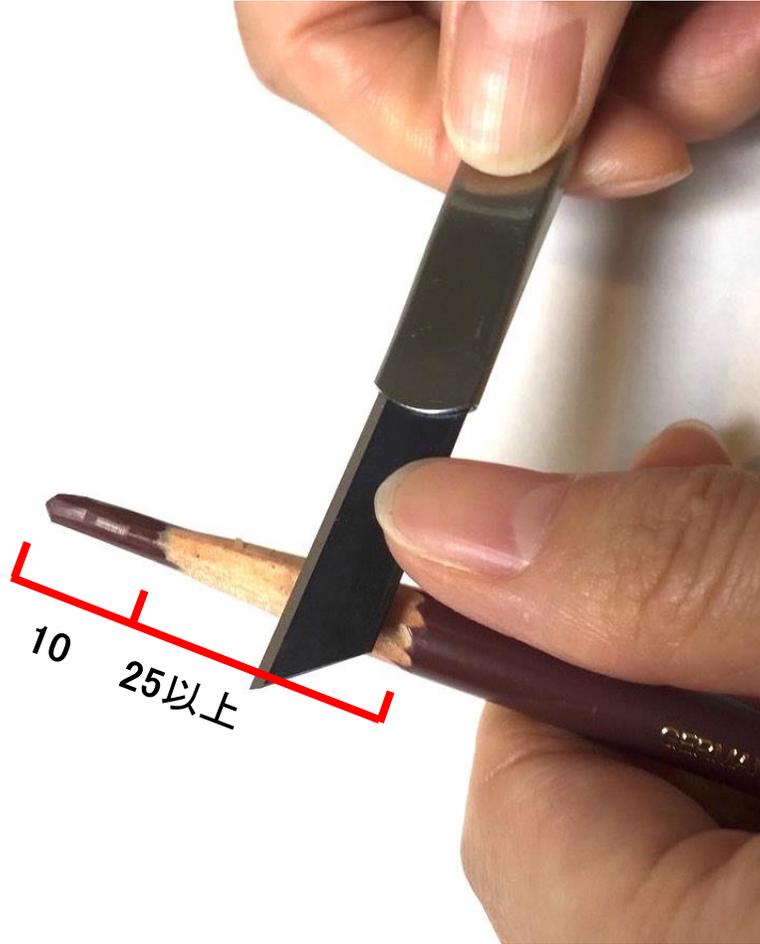
選び方の方針:様々なインテリアスタイルに対応できるように18色を選びます。まず**アクセント色**として高彩度6色、壁など広い面積の下地用に高明度の**ペールトーン**3色、グリーン・タイルなどの自然素材の表現用に**中彩度**3色、木の表現と暖色の明度・彩度調整用に**暖色系中彩度**3色、寒色の明度・彩度調整用に**寒色系低彩度**3色を選択しました。(カッコ内は具体的な一つの例としてファーバーカステルから選びました)

	一般名称(ファーバーカステル色名・色番号)
高彩度6色 アクセント色	黄 (カドミウム イエロー 107) オレンジ (グレージングオレンジ 113) 赤 (ディープ スカーレットレッド 219) 紫 (バイオレット 138) 青 (ミドルフタロブルー 152) 緑 (エメラルドグリーン 163)
高明度3色 ペールトーン	アイボリー (アイボリー 103) 水色 (ライト コバルト ターコイズ 154) ベージュ (ライトフレッシュ 132)
中彩度3色 自然素材表現	えんじ (ポンピアンレッド 191) 深緑 (フーカズグリーン 159) わさび (メイグリーン 170)
暖色系中彩度3色 木の表現 明度・彩度調整用	黄土色 (グリーンゴールド 268) カーキー色 (ブラウンオーカー 182) マホガニー (カプトウモルトウーム バイオレット 263)
寒色系低彩度3色 明度・彩度調整用	インディゴ (ダークインディゴ 157) グレー (コールド グレイIV 233) ライトグレー (コールド グレイII 231)

3. 色鉛筆の削り方



削り方は色鉛筆の芯をそのまま出します

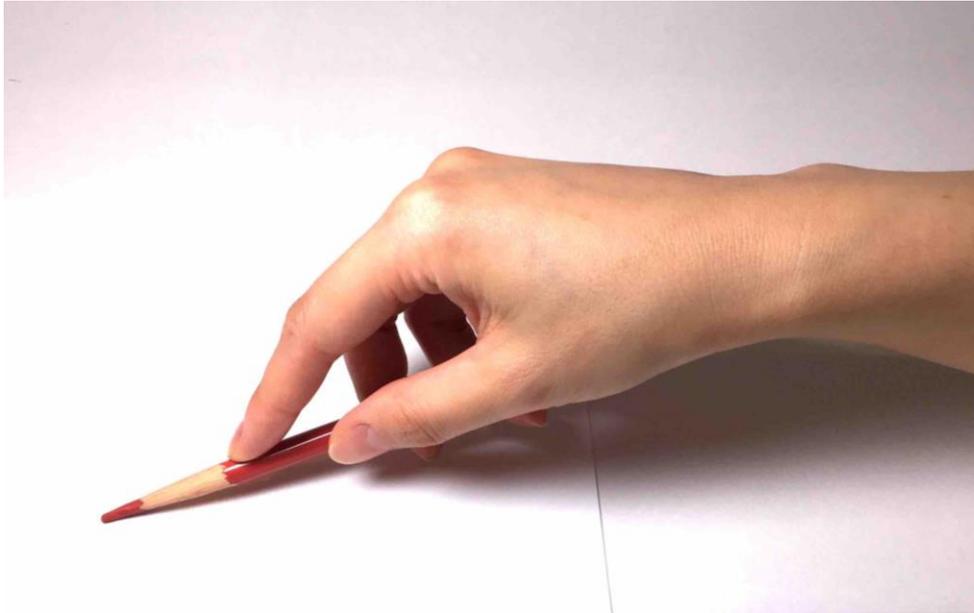


芯削り器は先を削ってしまうので使用しません。



動画で見ることができます。

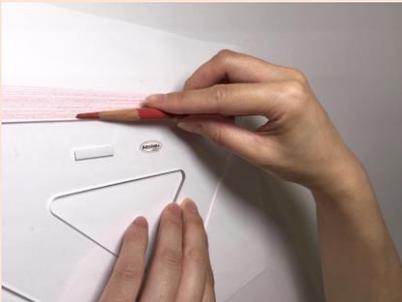
4. 色鉛筆の持ち方



寝かせて持つ: 広い面積を均一に塗りたい時、芯の腹の部分で軽く塗ります。特に力を入れないように注意します。



立てて持つ: 小さな部分や角の先端を塗りたい時、鉛筆を立てるようにして塗ります。

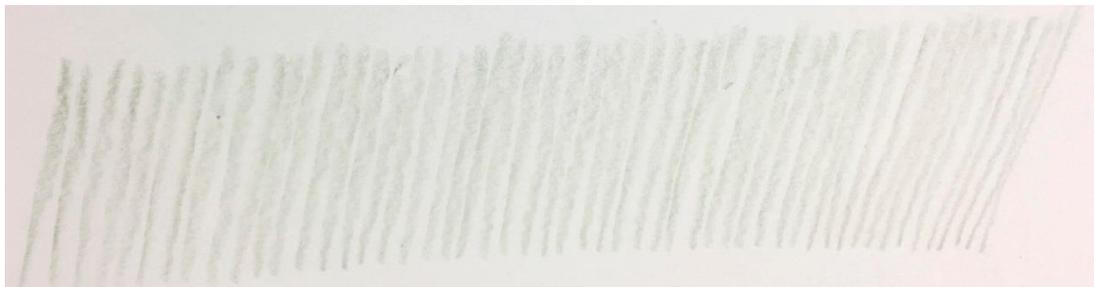


[目からウロコ ①]

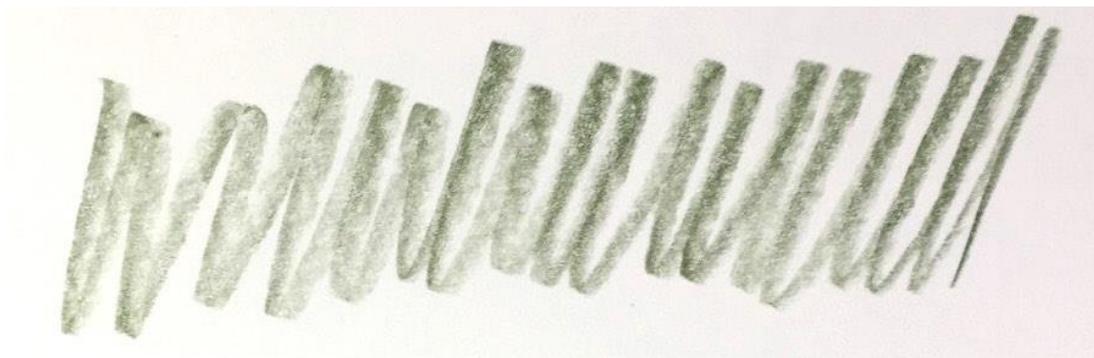
定規に当てて塗る: 軽く持って定規をあてて塗ります。急ぐときに有効な方法です。余計なタッチやむらを出さないようにできます。

5. 塗り方の基本

力を抜いて丁寧に一方向に塗る

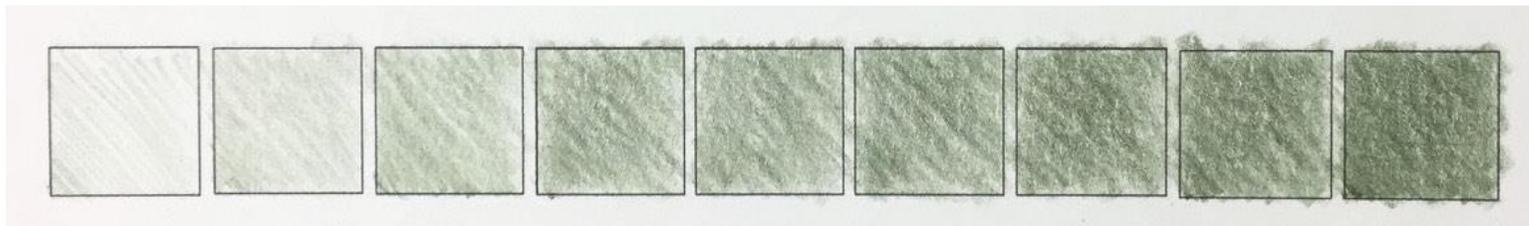


良い例：
力が抜けて均一に塗れている



悪い例：
力が入りむらが出ている

塗り重ねて濃さを変える



薄塗りで始め、
繰り返して濃くする
輪郭線を取らない

6. 鉛筆の塗り方 応用編

[目からウロコ ②]

通常、色鉛筆で塗った面は消すことができません。ところがこれから紹介する方法を用いると、消しゴムできれいに消すことができます。



まず、できる限り鉛筆を軽く持って均一に塗ります。
次に、ティシュペーパーで軽く芯の粉を伸ばします。



この状態にすると、色鉛筆で塗った面が消しゴムで消えます。
延ばしてはみ出したところも消すことができます。



動画で見ることができます。

7. 付録トレーニングペーパーの使い方

何事においても、習ったことは直ぐに実行していただくことです。毎回の講座内容をこのトレーニングペーパーで演習して下さい。少し応用っぽい所もありますが、工夫してやって下さい。次回に参考作品を付けますので、ご自分の作品と比較して更に腕を上げて下さい。

